

議会だより

No.102

令和8年4月15日号

今月の渥美半島の花
「カスミノウ」



令和8年第1回定例会 (3/2~3/23)

- 定例会で決まったこと 2 ページ
- 税金の使い方が決まりました 4
- 議案一覧・主な質疑 6
- 一般質問 (代表質問・個人質問) . . . 10

令和8年第1回臨時会 (1/27)

- 臨時会で決まったこと・議案一覧・主な質疑 . . . 9

その他

- 令和7年 議会活動状況の報告 17
- 議員とたはらトーク 18
- 議会の活動 19



大きく広がる地域の輪

キノコ栽培講師 西山 直司さん (インタビュー20ページ)

過去最大の予算を可決

令和8年 第1回 定例会 (3月2日～3月23日)

このようなことが決まりました

市長提出議案 29件

令和8年第1回定例会を3月2日から3月23日まで開催しました。
令和8年度一般会計予算などを含む市長提出議案29件は、いずれも原案のとおり
同意・可決しました。

▷関連4～8ページ



3月10日から13日の4日間、予算決算委員会において令和8年度予算案の内容を審査し、3月23日の本会議最終日に全ての予算を可決しました。

税金の使い方が決まりました

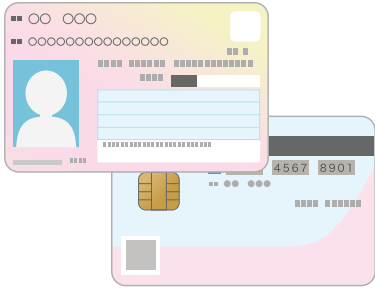
議案第29号令和8年度一般会計予算ほか4件

未来をひらくための

議案第13号子ども医療費支給条例等の一部改正

子ども等の医療費助成がマイナンバーカードのみの提示で受けられるようになります

子どもや母子家庭等、障害者、精神障害者が医療機関等で医療費助成を受ける際、マイナンバーカードを提示すれば、受給者証を提示しなくても医療費助成を受けられるようになります。



議案第14号使用料及び手数料条例の一部改正

中学校屋内運動場等の空調設備使用料が新設されます

田原中学校を除く3中学校の屋内運動場と武道場に、新たに整備された空調設備の学校施設開放利用時の使用料が新設されました。屋内運動場の空調設備は1時間当たり1300円、武道場は1時間当たり500円です。また、総合体育館の武道場の空調設備の使用料も新設され、1時間当たり500円です。



令和8年度予算審査

税金の使い方が決まりました

市長から、令和8年度の予算案が提出され、議長以外の全議員で構成する予算決算委員会において、内容を審査しました。

審査の結果、全ての予算案を可決し、令和8年度の税金の使い方が決まりました。

※万円未満切り捨てのため、合計が合わない場合があります

■ 特別会計の内訳

国民健康保険特別会計	82億8,586万円
後期高齢者医療特別会計	12億6,351万円

■ 企業会計の内訳

水道事業 (収益的支出)	13億2,694万円
(資本的支出)	8億5,257万円
下水道事業 (収益的支出)	26億1,968万円
(資本的支出)	15億4,272万円

総額	508億1,131万円 (前年度比 +21億1,698万円)
一般会計予算	349億2,000万円 (前年度比 +16億3,000万円)
特別会計予算	95億4,937万円 (前年度比 +3億7,168万円)
企業会計予算	63億4,193万円 (前年度比 +1億1,530万円)

「未来をひらき、

魅力あるたはらを創る」予算

本市の市税収入は、製造業を中心に各国の通商政策やイラン情勢による影響などが危惧され、非常に厳しくなることが見込まれます。一方歳出では、サテパークたはらのリニューアル整備などの大型事業に取り組むほか、社会保障関係費、デジタル化に向けた情報システム関連経費、老朽化した公共施設の長寿命化や、災害に対応するインフラの強靱化の費用などに加え、物価高騰や賃金上昇に伴う事業費が増大しています。

このような状況の中、令和8年度においては、「第2次田原市総合計画第3期実施計画」に掲げる施策を実施し、市民一人一人が幸福を感じ、生きがいをもって生活できる環境づくりを推進するための「未来をひらき、魅力あるたはらを創る」予算が、市長から提出されました。

令和8年度の重点施策

- ① 住み続けたいまちづくり
- ② 住んでみたい・訪ねてみたいまちづくり
- ③ 未来につながるまちづくり



▽予算決算委員会での審査は8ページ

令和8年度 主な事業

令和8年度の新規事業
を中心にご紹介します。

(万円未満四捨五入)



乳児等通園支援事業 (こども誰でも通園制度)の実施 670万円

子育て家庭の支援のため、生後6カ月から
満3歳未満の子どもの通園支援を開始



小中学校の給食費無償化の実施 2億7,346万円

小中学校の給食費を無償化し、子育て世帯の
経済的負担を軽減



AIを活用した英語教育の充実 2,362万円

AIによるスピーキング練習や、オンラインで
海外生徒と交流する機会を設ける



児童クラブ運営・学習指導員の充実 1億1,384万円

公営児童クラブの運営と学習指導員業務を
公募型プロポーザル方式により選定された
民間事業者へ委託



アジア競技大会の開催 1,739万円

本市では9月25日から29日にかけて、
サーフィン競技が行われる



イメージ図

強靱^{きょうじん}で信号のない道路の 実現に向けた取り組み 831万円

半島先端までの道路の機能強化を図るため、
道路整備に伴う環境調査を実施



たはら屋台村の実施(社会実験) 7,170万円

柳町駐車場に夜間飲食を中心とした、たはら
屋台村を設置し、集客力や事業性等を検証



水道料金減免(物価高騰対策) 1億282万円

固定料金から、一般世帯に多い口径
13ミリの金額分(1,078円/月)を4カ月間減免

■令和8年第1回定例会議案一覧

22	伊良湖観光情報サービスセンター(株式会社田原観光情報サービスセンター)
21	田原観光情報サービスセンター(株式会社田原観光情報サービスセンター)
指定管理者の指定	
25	市道路線の認定
20	下水道条例の一部改正
19	水道事業給水条例の一部改正
18	子ども・子育て会議条例の一部改正
17	病後児保育室の設置及び管理に関する条例の一部改正
16	児童発達支援センターの設置及び管理に関する条例の一部改正
15	条例の一部改正
14	市立保育所の設置及び管理に関する条例の一部改正
13	子ども医療費支給条例等の一部改正
12	国民健康保険税条例の一部改正
11	改正 特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正
10	職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正
9	行政手続条例の一部改正
8	条例 都市計画法に基づく開発許可における公園等の設置基準の緩和に関する条例
7	特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例
6	公平委員会委員の選任 (太田 由紀夫 氏)
議案 市長提出議案	

主な質疑

議案に対する
委員会・本会議での
議員の質疑・意見です

24	蔵王山展望台(株式会社あつまるタウン田原)
23	太平洋ロングビーチ観光便益施設(田原市サーフィン業組合)
令和7年度補正予算	
26	一般会計(第7号)
27	国民健康保険特別会計(第2号)
28	後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)
令和8年度予算	
29	一般会計
30	国民健康保険特別会計
31	後期高齢者医療特別会計
32	水道事業会計
33	下水道事業会計
34	一般会計(第8号)
議案 市長提出議案	
追加議案	
令和7年度補正予算	

議案 No.7
特定乳児等通園支援事業の運営

問 通園を拒否できる正当な理由とは、どのようなものが想定されているのか。

答 定員に空きがない場合や、子どもに特別な支援が必要な場合などで、職員配置や施設の機能により、どうしても受け入れが困難である際には、通園を拒否できるものと考えている。

議案 No.12
国民健康保険税条例の税率

問 この保険税率とした考え方は。

答 令和8年度は子ども・子育て支援納付金分の課税も始まるため、被保険者の負担が大きいと考え、被保険者の負担感を少しでも和らげるように、基金と一般会計繰入金を活用し、条例案の税率とした。なお、子ども・子育て支援納付金分は、標準保険料率に準じた税率としている。

問 子ども・子育て支援納付金分は18歳以上に課税されることだが、これは高校生も対象になるのか。

答 高校生は、18歳に到達した年度末まで課税されない。

議案 No.17
病後児保育室の利用対象児童

問 利用対象児童について、市内に住所を有する満1歳から小学校6年生までとあるが、本市に住所があり、保護者の仕事の関係等で市外の保育所や学校などに通っている児童は、この病児・病後児保育室を利用できるのか。

答 本市に住民票があれば利用できる。反対に、市外に住民票があつて本市の保育園や小学校に通っている子どもは利用できない。

問 利用対象児童について、病気の回復期または病気の回復期に至っていないが、当面の症状の急変は認められない状態とあるが、これはどのように判断するのか。

答 医師が診察し、市で作成した受け入れの目安を基準に判断してもらうことを想定している。

問 利用料の額について、現行では児童1人につき1日当たり2千円となつているが、改正後の案では児童1人当たり千円となる。どのような理由で減額するのか。

答 多子世帯などは家庭内感染により、複数の児童が病後児保育を数日間利用し、高額になる事例も

あった。現在、開設している病後児保育室の利用が非常に少ないため、利用料を減額することで、利用の促進と子育て世帯の経済的・精神的負担の軽減を図ることを目的として軽減する。

議案 No.19、20

災害その他非常の場合の上下水道宅内配管工事

問 災害その他非常の場合とは、具体的にどのような状況を指すのか。

答 大規模な豪雨や洪水、地震などの自然災害の発生のほか、火災や事故などの突発的な事象により、個人宅の上下水道施設の損壊が広範囲かつ多数箇所が発生し、生活に支障を来している場合において、本市に登録している指定工事店のみでは緊急修理などに対応できないような状況を想定している。

問 本市で登録していない業者が入る場合でも、市民が安心できる品質や安全性をどのように確保しているのか。

答 他自治体の指定を受けた、水道法または下水道法の基準を満たした業者に限定しているので、安全性は確保されると考えている。また、

市への申請が必要な改造等を行う場合には、本市の指定工事店と同様の手続きを経ることになるため、申請時の審査や完了時の検査を通じて、必要に応じて指導を行うことで品質確保に努める。

(3) / 9 文教厚生委員会

議案 No.8

都市計画法に基づく開発許可における公園等の設置基準の緩和

問 なぜこの時期に条例を定めることにしたのか。

答 令和7年3月に国土交通省都市局から、開発行為に伴い設置する公園等について技術的助言の通知があり、この制度は利活用しにくい小規模な公園等や、適切な維持管理が困難な公園等の増加の抑制に寄与すると考えられるとの助言であった。これを受け、本市でも既存制度の活用を検討し、この時期になった。

問 この開発行為によって今まで移管を受けた公園等があると思うが、現在の管理状況は。

答 開発行為によって移管を受けたものが約60カ所、公園が約40カ所、緑地が約20カ所となっている。管

理については、市直営や地元への委託により管理しているが、数も多く、特に緑地においては維持管理に苦慮している。

問 今回の条例制定により、3千平方メートルを超えるような開発行為を、今後どのような所で実施を見込んでいるか。

答 田原市街地内の低未利用地や市街地編入候補地である天白地区、古田地区での開発を見込んでいる。

議案 No.10

子育て部分休暇

問 本条例に子育て部分休暇を加える理由は。

答 本市では、地方公務員の育児休業等に関する法律に基づき、就学前までを対象とする部分休業の運用によって、育児と仕事の両立を図っているが、県内の市町村において、独自制度が創設されている。こうした状況を踏まえ、本市においても新たに子育て部分休暇を創設することで育児支援の拡充を図るとともに、職員が安心して職務に従事できる環境を整えることを目的としている。

問 既存の小学校就学前までの部分休業と、今回の小学校3年生までの子育て部分休暇との違いは。

答 従来型の部分休業は、1日当たり2時間までを取得する第1号育児時間と、令和7年10月1日に新設された、1年につき10日相当の範囲で自由に取得できる第2号育児時間の2つの形態から選択できる制度となっている。一方、子育て部分休暇は、従来型の1日当たり2時間まで取得可能な制度を、小学校1年生から小学校3年生までの子を養育する職員を対象を拡大した。

問 対象年齢を小学校3年生までとした理由は。

答 子の看護休暇の対象年齢が小学校3年生までとされていること、児童クラブを利用する児童が、おむね小学校3年生までであることを考慮した。また、職員の勤務時間が短縮される制度であるため、所属への業務の影響も一定程度想定されており、業務運営と職場環境のバランスを図った。

(3) / 9 総務産業委員会

議案 No.34

中学校整備事業

問 田原中学校の屋内運動場等空調設備の整備の工期は。

答 令和8年7月から令和9年2月までの工期を想定している。

問 どのような空調設備であるのか。

答 これまでの5校と同様、ガスヒートポンプ方式の空調設備とする予定である。

議案 No.29

令和8年度一般会計予算

防犯啓発・地域巡回事業

問 新設予定の防犯カメラの設置場所を高松一色交差点とした理由は。

答 高松一色交差点付近には、警察が設置している車両ナンバーを自動で読み取る装置、通称Nシステムが既に設置されており、今回防犯カメラを設置することで車両ナンバーと併せ、車両の特定や乗っている人物、人数等の解析に有効であるため。

商業地活性化推進事業

問 令和8年度は田原市民まつりを行わないと聞いているが、その経緯は。

答 愛知県からアジア・アジアパラ競技大会によるイベント抑制の依頼を受け、休止することとした。
(3/10 予算決算委員会)

農業委員会運営事業

問 農業委員会や農地利用適正化推進委員が現地調査をした結果、その後農地を遊休農地にさせないための取り組みとしてどのようなことが行われているのか。

答 新たに遊休農地と判断された農地の所有者に対して、利用意向調査を実施している。農地を貸したい、売りたい、自ら耕作する等の項目にチェックをして返信するもので、次年度も継続して実施している。

農業経営活性化事業

問 タハナをプロモーション業務として自立した運営体制の構築を図るとのことだが、どのような業務を想定しているのか。

答 SNS等を活用した情報発信、または販売促進の提案、実施など、タハナの認知度向上と販売促進につながる取り組みを行う業務を想定している。

田原地区まちづくり事業

問 三河田原駅周辺にぎわい創出業務で、たはら屋台村として社会実験の実施に至った経緯は。

答 柳町駐車場においては、新規創業・開業の促進を図り、にぎわいを創出する飲食店を中心とした施設整備が望ましいが、すぐに本格的な整備をするのではなく、簡易な形で社会実験を行って検証すべきといった方針が、田原市街地活性化協議会で出たため、その方針に沿って社会実験の実施に至った。
(3/11 予算決算委員会)

訪問型サービス事業

問 介護予防やフレイル対策として行われる訪問型サービス事業では、具体的にどのような支援を行うのか。

答 自宅や実際の生活の場に専門職が訪問し、利用者の生活課題に応じた支援を行う。実際の生活場面で評価、指導を行うことで、生活の中で自信を持って取り組めるよう支援していく。

児童クラブ運営事業

問 児童クラブの運営を10月から民間事業者者に委託することだが、年度途中に民間に委託することによって、児童クラブの運営に支障が出ないのか。

答 現状の児童クラブの運営の仕方を継続する形で民間委託を考えたおり、運営に支障を来すことがないよう進めていく。
(3/12 予算決算委員会)

議案 No.33

下水道事業会計予算

問 ウォーターPPPの導入は、下水道事業の健全な経営につながるのか。

答 民間事業者のノウハウを活用することによる施設運営の改善や維持管理の効率化による歳出抑制と、汚水管の改築に係る費用等に国の交付金を充当する歳入確保が、経営の健全化につながると考えている。
(3/13 予算決算委員会)

このようなことが決まりました

令和8年第1回 臨時会 (1月27日)

議案第5号
令和7年度一般会計補正予算 (第6号)

物価高騰対応支援給付金等の補正予算
を可決しました

65歳以上の高齢者や令和7年度の住民税非課税世帯に給付金を支給します。

令和8年第1回臨時会議案一覧

議案	1	2	3	4	5
市長提出議案	専決処分の承認(令和7年度一般会計補正予算(第5号))	童浦小学校校長寿命命化改修工事(週休2日)請負契約	童浦小学校校長寿命命化改修工事に伴う機械設備工事(週休2日)請負契約	童浦小学校校長寿命命化改修工事に伴う電気設備工事(週休2日)請負契約	一般会計(第6号)
	計補正予算(第5号)	童浦小学校校長寿命命化改修工事(週休2日)請負契約	童浦小学校校長寿命命化改修工事に伴う機械設備工事(週休2日)請負契約	童浦小学校校長寿命命化改修工事に伴う電気設備工事(週休2日)請負契約	令和7年度補正予算

※議案番号欄が白の議案は、賛否が分かれた議案です。

主な質疑

議案に対する
委員会・本会議での
議員の質疑・意見です

議案 No.2, 3, 4

童浦小学校校長寿命命化改修工事

問 当初の予定から令和9年10月29日まで工期がずれるが、学校活動の影響に、どのような対応をしているのか。

答 学校側と工事工程について十分に協議調整を行い、安全面に最大限配慮した上で学校活動への支障が最小限となるよう努める。
(1/27 文教厚生委員会)

議案 No.5

物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金

問

国からの交付限度額について、本市は4億3406万7千円という金額だが、補正予算には1億8349万8千円しか計上されていない。なぜ全額を計上しなかったのか。

答 国から示された推奨事業メニューの中で検討し、その事業内容や実

答

他の事業が不要だったということではなく、交付金4億円余りをどのように効果的に配分するかを検討する中で、低所得者、高齢者、子育て支援、経済対策に対し重点的に計上した。
(1/27 予算決算委員会)

問

今回計上された予算以外には、年度内に必要なものはなかったという理解でいいか。

討論

議案に対する
本会議での議員
の賛成・反対の
表明です

議案 No.5

令和7年度一般会計補正予算(第6号)

反対(眞野尚功)

物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金の交付限度額4億3406万7千円のうち、市が1億8349万8千円のみを計上し、半額以上を次年度へ先送りする対応は、迅速な執行という国の制度趣旨に沿わず、市民への支援遅

賛成(中神靖典)

今回の補正予算は、国の推奨事業メニューに該当すること、また、低所得者世帯や高齢者世帯をはじめ、困難な状況にある者を支援するとともに、プレミアム付デジタル商品券の発行により、市内の消費を喚起し、経済の好循環につながることを期待できるものとなっているため、本議案に賛成する。

賛否が分かれた議案

※議案第5号「令和7年度一般会計補正予算(第6号)」

結果 (賛成:反対)	小川 金一	内藤 浩	村上 誠	辻 史子	柳元 浩幸	山上 勝田	眞野 尚功	古川 美栄	中神 靖典	鈴木 和基	小川 貴夫	中村健太郎	岡本 重明	古川 幸宏	中野 哲伸	平松 昭徳	内藤喜久枝	岡本 禎稔
可決 (11:6)	×	○	○	○	○	×	×	○	○	○	×	○	○	×	○	○	×	—

○…賛成 ×…反対 —…議長は議決に加わらない

ここが聞きたい

一般質問



一般質問とは、議員が自身の考えや市民の皆さんの声をもとに市の行財政全般について方針や執行状況などを質問することです。

代表質問

令和8年度予算の考え方は

将来を担う子どもたちが希望を持てるような未来をつくる



なか がみ やす のり
中神 靖典
新政田原自民クラブ



令和8年度施政方針について

問 令和8年度予算の考え方は。

答 人口減少・少子高齢化が見込まれる中でも、将来にわたって持続可能な行財政運営を行うとともに、将来を担う子どもたちが希望を持てるような未来を、そして地域経済がさらなる発展を遂げる魅力ある田原市をつくっていききたい。

問 財政見通しと財源確保の考え方は。

答 財政見通しについて、市税収入は増加しているが、法人市民税は各国の通商政策等による影響が懸念される。また、令和8年度以降は大型事業に加え、各種事業費やインフラ施設の更新費の増大が予想される。財源確保の考え方について、歳入面では、国や県の補助制度の積極的な活用、各種基金の活用、財政的にメリットのある市債の借り入れなどにより、歳入確保を図っていく。歳出面では、行政改革による事業の最適化、DXの取り組みによる業務の効率化などで支出の抑制を図り、財源確保に努めていく。併せて、企業誘致や地域産業の育成につながる取り組みを推進し、将来に向けた安定的な税収の確保に努めるとともに、クラウド

ファンディング型ふるさと納税や企業版ふるさと納税制度の活用など、財源確保策を積極的に推進し、健全な財政運営を図っていく。

問 重点施策を推進するための取り組みは。

答 公共インフラの強靱化については、半島先端までをつなぐ強靱で信号のない道路の早期実現に向けて、半島先端地域の防災機能強化など、半島防災の取り組みを積極的に推進していく必要があると考えている。世界に誇れる花のまちに向けた取り組みは、来年3月に横浜で開催される国際園芸博覧会への出展により、花き需要や販路の拡大、農業者の生産意欲の向上などにつながり、日本一の花の産地としての維持を目指す。中心市街地の活性化については、令和8年7月から柳町駐車場を実施を予定している、たはら屋台村の社会実験により、中心市街地全体の新たなにぎわいの創出、出店促進への効果を検証し、活性化につなげていきたい。



おがわ きんいち
小川 金一
自由民主党田原市議団



代表質問

きょうじん
強靱で信号のない道路の早期実現は

現道の機能強化を軸とした一般道整備の検討を進めている

令和8年度施政方針について

問 子育て・教育施策の持続可能性と恒常的財源の確保や施策の効果は。

答 積極的に国・県の交付金や補助金の確保に努めるとともに、こども基金を計画的に活用するなど、恒常的財源の確保に努め、世代間の負担の公平性に配慮した上で各施策の展開を図っていく。時代のニーズに応じた施策を展開することで若い世代の定住促進や出生意欲の向上につながり、少子化の緩和に資するものと期待している。

問 田原市産業会館を市内経済の振興拠点とする中小企業の経営支援や、農業分野等の産業振興の取り組みを雇用創出や所得向上にどう結びつけるのか。

答 田原市産業会館については、地域内外との連携を強化することで既存産業の維持や活性化を図り、新たな産業やビジネスの創出を推進する。農業については、スマート農業の普及促進や農地の集積・集約化、基盤整備などを推進することで職業としての農業の魅力向上に努める。これらの取り組みを推進することで、雇用創出や所得向上につながるものと考えている。

問 一般道を活用して半島先端までを陸路でつなぐ、強靱で信号のない道路の早期整備の進捗見通しは。

答 現道の機能強化を軸とした一般道整備の検討を進めている。県道豊橋渥美線と国道259号を主たるルートとして機能強化を図る一般道整備方針を愛知県と連携して取りまとめている。3月に開催される渥美半島防災サミットで道路等の防災インフラの整備方針を示し、これを前提に半島防災の確立に向けて地域一体での議論の立ち上げを図る。



代表質問

- P 10 新政田原自民クラブ なか がみ やす のり
中神 靖典 令和8年度施政方針について
- P 11 自由民主党田原市議団 お がわ きん いち
小川 金一 令和8年度施政方針について
- P 12 市民クラブ やなぎもと ひろ ゆき
柳元 浩幸 令和8年度施政方針の重点施策について

個人質問

- P 12 ま の ひさかつ
真野 尚功 小中学校のいじめ対策について
- P 13 つじ あみこ
辻 史子 子どもをデジタル犯罪やネット上のいじめから守るための取り組みについて
- やまかみ かつ よし
山上 勝由 成年後見制度の利用促進について
- P 14 な い と う き く え
内藤喜久枝 消防団の維持について
- P 15 お が わ たか お
小川 貴夫 赤羽根市民センター等の複合化までの現施設の運営管理について
- P 16 ふるかわ ゆきひろ
古川 幸宏 交通空白の解消について
- お が わ たか お
小川 貴夫 飼い主のいない猫対策について
- ふるかわ ゆきひろ
古川 幸宏 シデコブシの保全について



代表質問

カーボンニュートラルに向けた取り組みは

地域特性を生かした持続可能な取り組みを進める



やなぎもと ひろき
柳元 浩幸
市民クラブ



令和8年度施政方針の重点施策について

問 子育て支援について、取り組みの方向性は。
答 保育士の確保は喫緊の課題であると認識しており、引き続き民間園との連携強化などにより保育の受け皿確保に努めるとともに、保育サポーターの任用などにより保育業務の負担軽減を進め、保育の量と質の両立を図っていく。

問 定住・移住を促進するためには、魅力的な住環境の整備が必要と考えるが、市の考えと方向性は。

答 民間事業者による未利用地などの土地開発を促進することが必要であると考えており、市街化区域の居住誘導区域内や、鉄道の神戸駅の近くで生活利便性が高い市街地編入候補地である天白地区において、住宅地の確保を進めていく。また、田原市街地内の大規模な低未利用地におけるアパートやマンションなどの整備や誘致について、市の組織を強化し検討していく。

問 カーボンニュートラルに向けた取り組みの方向性は。

答 本市では、地域特性を生かした持続可能な取り組みを進めている。特に、豊かな自然環境を活用した再生可能エネルギーの導入促進や、省エネルギー対策を推進するとともに、新たなエネルギー資源として期待される水素やアンモニアなどの利活用について、関連企業や中部圏水素・アンモニア社会実装推進会議に加盟する自治体との連携を図っている。また、地域資源を活用した循環型社会の構築にも取り組んでおり、低炭素社会の実現に向けた基盤整備を進めている。これらの具体的な施策により、地域全体で持続可能な未来を実現することを目指していく。



小中学校のいじめ対策について

問 いじめ対策の現状と今後の方向性は。
答 田原市いじめ防止基本方針に基づき、道徳教育や児童生徒が居心地の良さを感じられる学級づくりによる未然防止、アンケートやICT端末を使った心身の健康観察の導入等による早期発見、専門家配置や相談窓口との連携等、重層的な支援体制を構築している。また、弁護士や医師らによる調査委員会を設置しており、重大事案には客観的な調査体制を整備している。今後は、関係部局や児童相談所、警察との連携を図り、コミュニケーション・スクールの仕組みも活用した地域ぐるみの見守り体制を強化していく。

問 アンケートなどのデータをAIが解析し、予兆を検知する仕組みの導入についての見解は。
答 現時点では外部委託の心理検査で十分と考えているが、AI技術の進展や他自治体の事例を踏まえ、必要に応じて研究していく。

現状は
田原市いじめ防止基本方針に基づき対応している



まの ひさかつ
真野 尚功
自由民主党田原市議団





つじ 史子
公明党田原市議団



不適切な画像を検知する防犯アプリ導入の考えは

具体的な活用方法を紹介し、導入を推奨していく

子どもをデジタル犯罪やネット上のいじめから守るための取り組みについて

- 問** 子どもを被害者にも加害者にもさせないための今後の取り組みは。
- 答** 危険の察知や法の理解と遵守について、児童生徒の情報モラルの向上を図っていく。
- 問** 愛知県警が開発したコドマモアプリは、タブレット端末にインストールすると、AIで写真や不適切な画像を検知し、削除する。また、検知後は画面上で警告するほか、市教育委員会と学校管理職にメールが届く。こうした防犯アプリの導入について、市の考えは。
- 答** 有効な手段だが、市としては子どもを守るのは大人の目が最も重要だと考えている。アプリの導入は、親子スマホ教室等で具体的な活用方法を紹介しており、引き続き導入を推奨していく。

成年後見制度の利用促進について

- 問** 成年後見人や被後見人は市税、国民健康保険、障害福祉、高齢者福祉など多岐にわたる手続きを各窓口で個別に行う必要があり、手続きの煩雑さや負担が大きい現状がある。各種通知等の送付先の変更を一括して登録、変更できる仕組みを導入することが有効と考えるが、どうか。
- 答** 関係各課と他市の取り組みを確認しつつ、仕組みの導入に関して検討していく。



- 問** いじめ防止には保護者や地域との協働が不可欠であるが、コミュニティ・スクールをどう生かすのか。
- 答** 地域住民が学校に関わる機会を増やし、顔の見える関係を築くことで、学校外での異変を早期に察知し、学校へフィードバックする仕組みを強化している。
- 問** いじめの予兆を見逃さないためには教職員の心の余裕が必要だと考えるが、そのための取り組みは。
- 答** 業務の精査により、外部委託できる業務を切り分ける等、事務作業の効率化などにより、教員が子どもと向き合う時間を確保する取り組みを進めている。

消防団の定員の見直しは

地域等の意見を伺いながら検討していく



やま かみ かつ よし
山上 勝由
自由民主党田原市議団



消防団の維持について

問 訓練の見直しにより、どの程度負担軽減が図られたのか。

答 操法大会の廃止により訓練が20日以上削減、式典の集約や訓練内容の見直しにより、参加時間や回数の削減ができ、負担軽減につながった。

問 団員の安全対策は。

答 活動服など団員への貸与品は、より安全性の高いものに更新している。また、消防職員による安全教育を実施し、団員の安全確保に取り組んでいる。

問 消防団に入団するメリットは。

答 災害から自分自身や大切な人を守る知識や技術などが身に付く。また、消防団応援事業の登録店舗で、代金の割引などのサービスが受けられる制度を団員だけでなく家族も利用できる。

問 消防団活動や入団のメリットをどのように周知していくのか。

答 既存のPR媒体に加え、動画配信やSNSなどの活用も視野に入れ、入団のメリットを広く市民が目

にするよう情報発信に努めていく。

問 消防団定員の見直しをどのように考えているのか。

答 定員見直しが必要だと思われる分団については、地域等の意見を伺いながら検討していきたい。

問 消防団の組織力を維持していくための考え方は。

答 分団内の詰所の集約を視野に入れた体制の見直しが必要であると考えている。

問 分団内詰所の集約を今後どのように進めていくのか。

答 消防団、地域等と連携し、持続可能な消防団の構築に努めていく。



赤羽根市民センター等の複合化までの現施設の運営管理について

赤羽根市民センター等の複合化までの現施設の運営管理は、利用者の方々に安心して利用していただける運営管理をしていく



ない どう き く え
内藤 喜久枝
自由民主党田原市議団



問

施設の一部が使用困難になった場合の対応は、まず状況を把握した上で、速やかに現地確認を行い、安全を最優先に対応していく。利用状況や影響範囲を踏まえ、必要な補修、応急措置を実施し、市民サービスの維持に努めていく。

答

令和8年度に施設解体に向けたアセスメント調査を実施、令和9年度に実施設計、令和10年度に建設工事に着手、令和11年度の供用開始を見込んでいます。

問

複合施設建設について、現時点での準備状況や建設予定、供用開始時期など、今後のスケジュールの具体的な見通しは。

答

現施設の状況を的確に把握し、利用者の方々に安心して利用してもらえる施設運営に取り組んでいく。

問

赤羽根市民センター等の複合化までの現施設の運営管理は。



おがわ たかお
小川 貴夫
自由民主党田原市議団



公共ライドシェアの導入に向けた取り組みは

2団体と実施方法について検討している

交通空白の解消について

問 ぐるりんミニバス中山線デマンド運行実証実験の乗車状況は。

答 4カ月の利用者数は1,130人で、実証実験前の利用者と比較すると約10%減少している。

問 定時定路線運行より利用されなかった結果をどのように捉えているか。

答 予約方法が分からない方や、電話をかけるのが手間になった方がいたのではないかと推定している。そのため、予約方法やデマンド運行のメリット等について、さらなる周知を図る必要がある。

問 高齢者や小中学生等に乗車体験や乗り方教室などの機会は提供できないか。

答 関係校区と相談しながら検討していきたい。

問 利用者確保のために実施した施策は。

答 午後の運行について、予約の受付期限を乗車の2時間前までに変更している。また、自宅近くで乗降したいというニーズに応えるため、自宅周辺へのバス停新設希望の募集を開始している。

問 コミュニティバスのフリー乗降の考えは。

答 定時定路線において、安全が確保された一部の道路沿いでの降車のフリー化は今後検討していきたい。

問 コミュニティバスの高齢者の運賃を100円にできないか。

答 運賃の改定については、田原市地域公共交通会議にて検討する予定である。

問 公共ライドシェアの導入に向けた取り組みは。

答 夜間の足の確保を目的とする渥美飲食店組合と、伊良湖地域の観光需要に応えることを目的とする田原市農泊推進協議会の2団体における公共ライドシェア導入に向けて、田原市地域公共交通会議に分科会を設置して、具体的な実施方法について、団体と一緒に検討している。

問 公共ライドシェアの赤字を市が補助する考えは。

答 今後実施予定の公共ライドシェア導入実証実験を踏まえ、支援の必要性やその内容を判断していく。



問 複合施設の供用開始まで数年あるため、施設の補修や応急処置では対応できない場合、施設の使用停止や機能移転が行われる可能性も考えられるが、市民への情報提供についてどのように考えているのか。

答 ホームページや広報紙への掲載、公式LINE、報道発表、回覧等により広く周知を図るとともに、利用団体へは個別に連絡を取り、影響の範囲や緊急性を踏まえて、適切な情報提供に努めていく。

近縁種との交雑による遺伝的汚染への対策は

必要に応じて専門機関や関係部署間で連携を図り進めていく



ふるかわ きよひろ
古川 幸宏
自由民主党田原市議団



飼い主のいない猫対策について

- 問** 今後の取り組みの方向性は。
- 答** 飼い主のいない猫の問題を地域の課題として捉え、自治会や地域住民、ボランティア、行政が連携して取り組むことが重要である。そのため、地域猫活動を一つの有効な手段として地域への普及につなげていきたいと考えている。
- 問** 猫の捕獲に慣れていない方にとって捕獲器の使用は容易ではないため、確実に捕獲できる人材の育成が必要だと思うが、市の考えは。
- 答** 今後、地域猫セミナーと併せて技術的なワークショップの実施を検討するなど、人材や団体の育成につなげていきたい。
- 問** 飼い主のいない猫だけを不妊去勢手術するだけでなく、飼い猫の対策も必要だと思うが、市の考えは。
- 答** 適切な室内飼いや必要に応じた不妊去勢手術の推奨等について理解を深めてもらえるよう、周知啓発を図っていきたい。

シデコブシの保全について

- 問** 近縁種との交雑による遺伝的汚染が危惧されるが、専門機関と連携した実態調査や部局横断的な保全について、市の見解は。
- 答** 交雑に関する調査は、今後の検討事項として捉えている。シデコブシの保全は、市の重要な自然資源保護として取り組むべきものであり、今後もさまざまな知見を集め、必要に応じて専門機関や関係部署間で連携を図り進めていく。
- 問** 市内文化財指定のシデコブシの保全について、具体的にはどのように管理しているのか。
- 答** 指定地内へ立ち入ることを防ぐために柵を設置し、黒河湿地と藤七原湿地には木道が整備されている。シデコブシの開花時期には、有識者の指導により、指定地内を含めた除草等による周辺環境の整備を行っている。

お知らせ information

令和8年第2回定例会（6月議会）会期

6月11日(木)～6月29日(月)

日	月	火	水	木	金	土
6/7	8	9	10	11 本会議 (議案審議)	12	13
14	15 本会議 (一般質問)	16	17	18	19	20
21	22 文教厚生委員会 総務産業委員会	23 予算決算委員会	24	25 議会運営委員会	26	27
28	29 本会議 (採決等)	30	7/1	2	3	4

開会時刻は10時です。(6月22日の総務産業委員会は13時30分からです。)

※日程および時間は、変更になる場合があります。

📺マークの日に、一般質問の映像をケーブルテレビ・インターネットで中継していますので、ぜひご覧ください。本会議・委員会は、誰でも傍聴できます。

令和7年 議会活動状況の報告

(令和7年1月1日～令和7年12月31日)

※詳しくはホームページをご覧ください。



本 会 議	定例会	4回 (会期日数 82日、会議日数 16日)		
	臨時会	1回 (会期日数 1日、会議日数 1日)		
	一般質問	代表質問：延べ日数 1日、延べ人数 2人		
個人質問：延べ日数 8日、延べ人数 40人				
議会運営委員会	11回	同協議会	9回	
総務産業委員会	5回 (付託議案件数 44件)	同協議会	6回	
文教厚生委員会	5回 (付託議案件数 32件)	同協議会	6回	
予算決算委員会	10回 (付託議案件数 17件)	行政評価勉強会	2回	
広報広聴委員会	9回	編集会議	8回	同協議会 8回
全員協議会	2回			
行 政 視 察	総務産業委員会 (9人) 7月8日～7月10日 島根県出雲市 「地方創生の取り組みについて」 「商工業振興の取り組みについて」 島根県美郷町 「防災集団移転促進事業による災害発生前移転について」 島根県江津市 「雇用創出について」 「空き家活用による定住・移住促進について」			
	文教厚生委員会 (9人) 10月29日～10月31日 東京都江戸川区 「ひきこもり支援について」 福島県福島市 「東日本大震災前後の上下水道における環境整備について」 埼玉県さいたま市 「不登校対策について」			
	議会運営委員会 (8人) 10月15日～10月16日 兵庫県尼崎市 「予算・決算審査の在り方について」 大阪府岸和田市 「政策討論会について」			
	広報広聴委員会 (8人) 7月17日～7月18日 神奈川県開成町 「議会広報の取り組みについて」 静岡県裾野市 「広報広聴活動の取り組みについて」			
市内・市外視察	0回			
議員研修会	東三河市町村議会議員・議会事務局職員合同研修会 7月15日「議論は活発に！でも…傾聴・受容のココロで～自らの・議会の政治倫理を再確認～」 議員研修会 7月31日「予算・決算審議に関する議員力向上研修」			
議案件数 (令和7年)	条例 44件 選挙 0件 意見書 2件 決議 0件	予算 14件 推薦 4件 請願 0件 報告 20件	決算 5件 その他 28件 陳情 10件 専決 2件	

議員とたはらトーク



1月31日（土）高松市民館において、子育て中のパパ・ママ、移住者、農業者、高齢者の皆さんを対象に、あなたが困っていることをテーマに意見交換を行いました。頂いたご意見は議員全員で共有し、政策提案等の検討材料としていきます。

※ご意見は抜粋して掲載しています。



子育て中のパパ・ママ

子どもたちの通学距離が長い。

子どもたちが高校生になると市外の高校に行ってしまうので、田原市内の高校の魅力化を図る。

市内を走る民間のバス代が高いので何とかしてほしい。

農業者

本市の農産物のさらなるPRをしてほしい。

農業者（若者世代）の技術・知識を高める場が欲しい。

農地の集約化を進めてほしい。



高齢者

自動車免許を返納してからが不安。

地域コミュニティの希薄化。

小・中学生との触れ合いの場が欲しい。



アンケートの自由意見から

高齢者が安心して暮らせる田原市にしてください。

若い子の参加が増えるといいなと思いました。

この会自体はとてもいい会だと思いました。

1月9日
農業農村整備事業の推進に関する
農林水産省等要望活動



農業利水施設やため池など、防災・減災対策に資する施設の整備促進を図るため、各省へ要望を行いました。

1月11日
二十歳の集い



議長が式典に出席し、激励の言葉を送りました。

1月26日
記念給食
アメリカンデイ～ケンタッキー州編～



議長が田原中部小学校の児童と共に、ジョージタウン市姉妹都市提携35周年記念給食を食べ、国際交流への理解を深めました。

2月12日
文教厚生委員会勉強会



農業集落排水事業について勉強した後、農業集落排水処理センターを視察しました。

3月1日
赤羽根ロングビーチラン



議長が出席し、小学生の部のスターターを務めました。

3月13日・14日
韓国旌善郡来訪



アリアラリ公演のために来訪した公式訪問団の皆さんと交流し、親睦を深めました。

議員とたはらトーク \開催します/

日 時：令和8年4月28日（火）

午後1時30分から午後3時まで

場 所：田原福祉センター3階 大会議室

意見交換会テーマ：1、まちづくりについて

2、福祉について

3、教育について

定 員：30人（受付順）

申込方法：4月23日（木）までに右の二次元コードからお申し込みください。

↓申込みはこちらから



■実施方法：初めに令和8年第1回定例会の議会報告を行います。その後、5～6名程度のグループに分かれて、テーマについて意見交換を行います。

■問い合わせ先：田原市議会事務局

☎ 0531-23-3533 ✉ gikai@city.tahara.aichi.jp



インタビュー

Vol.49

キノコ栽培講師

西山 直司さん

—講師を始めたきっかけは。

地区の地鎮祭で、昼食に私が栽培したキノコを振る舞っていました。そこに、来賓で来ていた当時の校区会長さんから、このキノコ栽培を校区に広めてくれなにかという相談を受けたことが始まりです。



—講師を始めて何年になりますか。

20年くらいになります。当時は、キノコの栽培に使う原木の切り出しから菌の購入まで、全て私が支度、準備をしていましたが、今では校区が全面的に協力してくれるようになりました。

—栽培体験の目的は。

手の入れられていない里山からキノコの原木を切り出し、それを活用したキノコの栽培方法を広く普及させ、その魅力を知ってもらうことで、結果として里山の保全につなげることです。



—今回の体験内容は。

シイタケとヒラタケの栽培です。シイタケは駒打ちといって、原木に菌を打ち込む方法で行います。ヒラタケは短木法といって、原木の切断面に菌を塗る方法で行います。今回は、この2種類を体験してもらいました。

—この体験を通して今後に期待することは。

20年くらい行ってきて、キノコの栽培方法は浸透してきていると思います。この体験を通して、参加者の皆さんに里山の維持・保全ということを意識してもらえたらと期待しています。

(聞き手:山上勝田) 令和8年3月取材



発行/愛知県田原市議会 編集/広報広聴委員会 〒441-3492 愛知県田原市田原町南番場30-1 ☎ 0531-23-3533 FAX 0531-22-5952

☞ <https://www2.city.tahara.aichi.jp/gikai/> ✉ gikai@city.tahara.aichi.jp

募集

パートさん
しその葉の摘み取り作業

内職さん
しその葉の結束・パック詰め



(応募) まずはお気軽にお電話ください。

TEL 0531-37-0447

(有)前田園芸 田原市江比間町二字郷中45
自宅: TEL0531-37-0447

安心とやさしさのにじいろ



株式会社ケアサポートにじいろ

- ・シニアハウスにじいろ田原
 - ・訪問介護にじいろケア
 - ・デイサービスにじいろ田原
 - ・にじいろケアプランセン
- 田原市豊島町道南22番地3 代表TEL 0531-29-0501

※財源確保のため、有料広告として掲載しています。広告については、田原市議会が推奨するものではありません。